

市民キャビネット災害支援部会

活動報告

- 準備会(第1回部会) 2010年1月20日 於芝公園福社会館
- 設立 2010年1月29日 於 星陵会館(五十嵐衆議院災害対策特別委員長に提言)
- 第2回部会2010年3月4日(木) 西宮市市民交流センター&埼玉NPOハウス(神戸新聞記事掲載)
- 第3回部会2010年4月29日(木) 日本青年館
- 2010年5月11日(火)仙谷由人国家戦略担当大臣と面談。
「国の形を変え、市民・NPOが政府と協働する『新しい公共』を！」と題する提言を手渡した。
- 研修会2010年8月21日(土)埼玉県県民活動総合センター
「災害時における応急対応、復旧・復興の取り組み～被災地の経験から」
長島 忠美氏(全国災害ボランティア議員連盟会長、衆議院議員、旧山古志村村長)
村井 雅清氏(被災地NGO協働センター代表)
江口タミ子氏(日本搜索救助犬協会代表理事)
富山 晶 氏(埼玉県危機管理防災部消防防災課 地震対策担当主幹)
来賓 五十嵐衆議院災害対策特別委員長
- 第4回部会2010年9月7日(火) 西宮市市民交流センター&埼玉NPOハウス
- NPOまつり2010年10月16・17日(土・日) 代々木公園(東京消防庁/市民自主防災ヘリコプターチーム披露)
- 2010年12月3日(金)提言について国土交通省から回答書受領提言内容:ファンド造成支援、人材育成支援
- 2011年1月6日(木)国土交通省津川政務官面
- 2011年1月6日(木)第5回部会
- 2011年1月8日(土)国土交通省調査費などについて、毎日新聞大阪夕刊トップに記事掲載
- 2011年1月20日(木)国土交通省国土計画局と協議(平成23年度予算に調査費が盛り込まれた)

市民キャビネット災害支援部会

政策提言へ協議

西宮で開催
西宮初

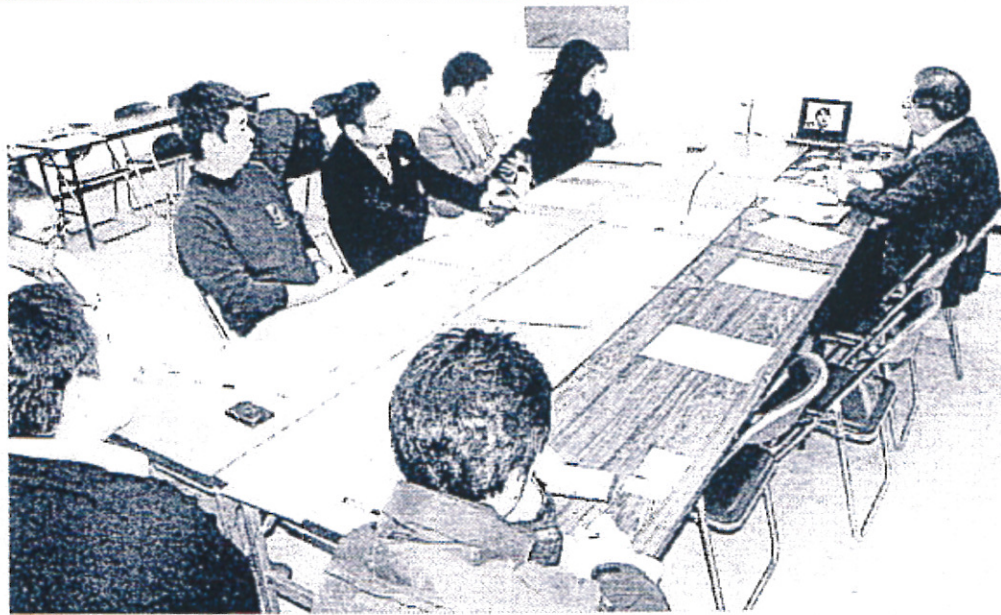
NPOなどの政策提言を政府に示し、市民政策の実現を目指す「新しい公共をつくる市民キャビネット」(事務局・東京)の災害支援部会が4日、西宮市高松町の同市市民交流センターで行われた。同部会の開催は関西

初で、埼玉県の会場とインターネット中継で結び、計12団体が参加。提言内容について議論した。

市民キャビネットは、現政権発足を機に、全国のNPO約50団体の代表が呼び掛け人となり、今年1月末に発足。子ども、

福祉、男女平等などの部会が今月末に政策提言を作成し、民主党との話し合いに臨むという。

災害部会には、兵庫県内からも5団体が参加。政策提言には、主に情報や資金、活動場所、人材育成、災害医療についての意見を盛り込むことになった。



政策提言作成に向けて話し合うNPO関係者ら＝西宮市高松町

日本災害救援ボランティアネットワーク(事務局・西宮市)の寺本弘伸常務理事は「災害のたびに費用を持ち出し、苦勞している。災害支援に資金が流れる仕組みづくりができないか」と訴えた。災害人道医療支援会理事長で、兵庫県災害医療センター顧問の鶴飼卓さんは「国連のように、被災地でさまざまな支援を調整する専門家が国内にも必要だ」と話していた。

(網 麻子)

市民キャビネット災害支援部会

活動報告研修会2010年8月21日(土)

埼玉県県民活動総合センター

「災害時における応急対応、復旧・復興の取り組み～被災地の経験から」

長島 忠美氏(全国災害ボランティア議員連盟会長、衆議院議員、旧山古志村村長)

村井 雅清氏(被災地NGO協働センター代表)

江口タミ子氏(日本搜索救助犬協会代表理事)

富山 晶 氏(埼玉県危機管理防災部消防防災課 地震対策担当主幹)

来賓 五十嵐衆議院災害対策特別委員長



市民キャビネット災害支援部会

活動報告NPOまつり2010年10月16日(土)

代々木公園

東京消防庁／市民自主防災ヘリコプターチーム披露



協働型災害ボランティアセンター

国、地方公共団体との災害出動における包括的な協定の実現！
全国的な防災NPO中間支援組織の設立

**ボランティアが活躍
できる仕組み**
災害時に貢献したいと考えて
いる市民は70%以上といわれ
ている。一人ひとりが活躍でき
る場の創出を企画する。

**コミュニティ活動支援
ファンドの造成**
地域の志あるお金によって
造成されたファンドに防災、
減災支援部門を創設
寄付、投資のプラットフォーム
中小零細企業への支援
資金循環の仕組み

**支援物資仕分け配布の
コーディネート**
災害時の義援物資及び平常
時における支援物資の受け
入れ、及び配分
この部分は訓練を要する

- ストリーミング配信
- 電波放送
- オンデマンド配信



コミュニティ放送局
インターネット放送局



基金訓練

静岡をモデルに全国数か所に設置

災害救助犬/防災士による緊急出動



人材育成
厚生労働省「基金訓練」(NPO地域
コーディネーター養成科)を基礎講
座と位置付ける。卒業生がボラン
ティアのリーダーとして活動する。
NPO災害支援コーディネーター養成
科では、防災、減災に焦点をおいた
専門講座と位置付ける。(フィールド
での訓練)災害発生時には、NPO地
域コーディネーターのリーダーとして、
連絡、調整係として活動する。

献身的な取り組み
を効果的に運用できるネット
ワークの形成。以下例
★市民防災ヘリコプターチ
ームによる情報収集
★災害弱者(要援護者に該
当しない各種疾患のある人)
対策
★心のケア
★セラピー犬の活用
★2週間の炊き出しメニュー
による炊き出し支援
★帰宅困難者対策
★防災マップ
★ICT、GPSの利活用

他の主体との連携・協働
行政(国、地方公共団体、消防
自衛隊、社協等)
企業・商工団体
地縁組織(自治会、民生委員)
商店街
労働組合
生協
農協・漁協など

災害時の機能
NPO支援センター
情報収集、ボランティア受け入れ
救援チーム出動、後方支援
他の主体との連絡、調整
ファンドからの資金助成

平常時の機能
人材育成
中間支援
市民団体の防災ネットワーク
他の主体との連絡、調整
ファンドからの資金助成
相談・カウンセリング(1人暮らし、疾患
等)情報収集

市民
キャビ
ネット
災害
支援
部会